

「電波の日・情報通信月間」記念式典を開催

電波利用及び情報通信分野の功労者を表彰



当局は、6月1日、札幌市において平成22年度「電波の日・情報通信月間」記念式典を開催し、電波利用及び情報通信の発展に功績のあった個人1名、8団体に対して、表彰を行いました。



各被表彰者の功績については下記当局報道発表をご覧ください。
<http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokkaido/2010/0601.htm>

《「電波の日」北海道総合通信局長表彰》

～ 電波利用の発展に功績のあった方々 ～

- ・札幌市消防局 様
- ・社団法人北海道消費者協会 様
- ・北海道電機商業組合 様
- ・北海道地上デジタル放送推進協議会PR作業部会 様

地上デジタル推進大使



北海道地上デジタル放送推進協議会PR作業部会は地デジ普及促進の広報イベントなどで活躍する6名の「地上デジタル推進大使」が同作業部会を代表して表彰状を受け取りました。

《「情報通信月間」北海道総合通信局長表彰》

～ 情報通信の発展に功績のあった方々 ～

- ・濱田 康行 様
(札幌国際大学学長、札幌国際大学短期大学部学長)
- ・函館市 様
- ・東日本電信電話株式会社北海道支店 様
- ・ワイコム株式会社 様
- ・特定非営利活動法人くるくるネット 様



担当：総務部 総務課 企画広報室 (内線4685)

「電波の日・情報通信月間」記念式典を開催

電波利用の発展に貢献された方々を表彰

式典共催者である北海道電波協力会は、電波利用の発展に貢献された2名の方に対し電波協力会会長表彰を授与しました。また、道内の8社会福祉施設に対し地デジ対応テレビを贈呈しました。

今年度は地デジ完全移行の約1年前ということもあり例年より多くの団体に対してテレビが贈呈されました。



《北海道電波協力会会長表彰》

- ・江良 勇一 様（帯広信和通信機販株式会社 代表取締役）
- ・小川 経一 様（北海道札幌琴似工業高等学校 情報技術科 教諭）

《北海道電波協力会から地デジ対応テレビを贈呈された団体》

- ・財団法人鉄道弘済会 札幌南藻園 様
- ・社会福祉法人池田社会福祉事業協会 十勝学園 様
- ・社会福祉法人北光福祉会 北光学園 様
- ・社会福祉法人岩内厚生園 岩内厚生園 様
- ・社会福祉法人徳美会 歌棄洗心学園 様
- ・社会福祉法人北海道光生会 美唄学園 様
- ・社会福祉法人いちはつの会 養護老人ホーム夕張みどりの園 様
- ・社会福祉法人函館共働宿泊所 函館共働宿泊所救護部 様

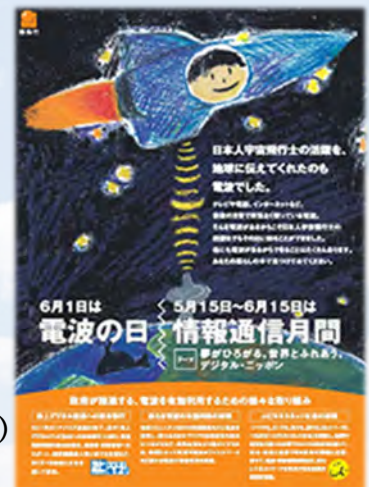
担当：総務部 総務課 企画広報室（内線4685）

情報通信月間（5月15日～6月15日）

総務省及び情報通信月間推進協議会は、情報通信の普及・振興を図ることを目的として、毎年度「情報通信月間」を設定しており、月間中と前後の期間は、全国各地で情報通信に関する様々な行事を実施しています。道内では各種セミナー、体験・イベントなど、19の行事が開催されました。

当局主催行事の開催は以下のとおりです。

- ・「平成22年度北海道地方非常通信協議会定期総会記念講演会」（4月8日）
- ・「地域活性化のためのICTセミナー」（5月20日）
- ・「電気通信事業分野における個人情報保護セミナー」（5月20日）
- ・平成22年度「電波の日・情報通信月間」記念式典（6月1日）
- ・「地上デジタル放送完全移行まであと400日」受信相談コーナーの開設（6月19日）
- ・「電波の安全性に関する説明会」（6月29日）
- ・「戦略的情報通信研究開発推進制度（SCOPE）研究開発課題成果発表会」（7月15日予定）



平成22年度電波の日・情報通信月間ポスター

情報通信月間参加行事の詳細については下記当局報道発表をご覧ください。

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokkaido/2010/0514.htm>

担当：情報通信部 情報通信振興課（内線4715）



ICT利活用／情報通信月間にセミナーを開催

個人情報保護の適切な取扱いについてセミナーを開催

個人情報保護法が全面施行され5年が経過しましたが、未だ個人情報の流出・漏えい事故等が多数発生していることから、当局は個人情報の適正な取扱いの周知を行うため、5月20日、札幌市において、(財)日本データ通信協会、(社)テレコムサービス協会北海道支部及び北海道テレコム懇談会との共催で、「電気通信事業分野における個人情報保護セミナー」を開催しました。

講師に桑子博行氏(認定個人情報保護団体・業務企画委員長)を招き、個人情報の取扱いに関する法令やガイドライン、指針等の動き、不適切な取扱いの事例や苦情・相談等の状況、適正な取扱いのための具体策等についてお話いただきました。セミナーの参加者からは「セミナーの内容を社内で情報共有し、取扱い方法等の点検をしたい。」といった感想が寄せられました。

電気通信個人情報保護推進センター(下記URL参照)では事業者の個人情報の取扱いに関する相談・苦情を受け付けています。<http://www.dekyo.or.jp/kojinjyoho/>

担当：情報通信部 電気通信事業課(内線4703)

地域活性化につながるICT利活用についてセミナーを開催

当局は5月20日、札幌市において、北海道テレコム懇談会との共催で「地域活性化のためのICTセミナー」を開催し、講師に上瀧實氏(東海大学 生物理工学部 生体機能科学科 教授)及び、渡辺克也氏(総務省 総合通信基盤局 電波部電波政策課 課長)を招き、地域活性化につながるICT利活用の方法についてご講演いただきました。上瀧氏からは、地域別の防災情報などをエリアを限定したワンセグ放送で配信するシステムについて、美瑛町での実証試験の結果や今後の利活用例を紹介していただき、渡辺氏からは、地デジ完全移行後の周波数再編やホワイトスペース*の活用など、電波政策の最新動向についての説明がありました。総務省ではエリア限定ワンセグ放送システムを含め、多様な手法でホワイトスペースの利活用を検討しており、渡辺氏からは「地域活性化につながる電波の有効利用方法について是非、北海道からも提案をしてください。」とお話がありました。

※ ホワイトスペース … 放送用など特定の目的に割り当てられているが、一定の条件のもと他の目的にも利用可能な周波数

当局では「エリア限定ワンセグ放送システムに関する調査検討会」を開催し、平成22年3月に報告書を取りまとめました。詳細は下記当局報道発表をご覧ください。

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokkaido/2010/0427b.htm>

担当：無線通信部 企画調整課(内線4624)



電波利用環境保護の取組

テレビCM・新聞広告などを利用し周知啓発活動を実施

総務省では6月1日～6月10日までを「電波利用環境保護周知啓発強化期間」と定め、正しく無線局を運用している電波利用者を不法無線局による混信その他の妨害から保護し、良好な電波利用環境の整備を推進することを目的として期間中全国的に周知広報活動を行いました。当局では道内の民放テレビ局5社及びケーブルテレビ局12事業者(5自治体を含む)による周知啓発用CMの放送、新聞広告の掲載、無線を利用する道内約1,800団体へのポスター等の配布、公共交通機関での交通広告(中吊り広告等)などにより周知広報活動を行いました。



JR中吊り広告



地下鉄での額面広告



バス内モニターでのCM放送

電波環境保護に係る周知啓発活動の詳細は下記当局ホームページをご覧ください。

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokkaido/K/denpa04.htm>

担当：電波監理部 電波利用環境課 (内線4743)

APEC貿易担当大臣会合開催に伴う特別監視体制を実施

6月5日～6日、札幌コンベンションセンターにおいて、APEC貿易担当大臣会合が開催されました。報道や要人の移動・警護等には無線通信が必須なことから、これらに使用する周波数を含む重要無線通信に対する妨害に備え、当局局長を本部長とする「重要無線通信妨害対策実施本部」を設置し、開催期間前日から終了日までの間、連続有人監視体制による電波監視を強化し、重要無線通信妨害への即応体制を確保しました。

期間中の電波監視の結果、重要無線通信等への電波妨害の発生はありませんでした。

当局ではこの経験を生かし、今後も重要無線通信への妨害に対する迅速な対応と、北海道内の適正な電波利用環境の維持に努めていきます。



平成21年度電波監視の概要については当局報道発表をご覧ください。

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokkaido/2010/0427a.htm>

担当：電波監理部 調査課 (内線4739)



地デジ完全移行に向けた強力な取組

報道機関を対象とした地デジに関する説明会を開催



当局、総務省テレビ受信者支援センター(デジサポ)、総務省地デジチューナー支援実施センター、北海道、北海道地上デジタル放送推進協議会は、報道機関の方々に地デジの現状や課題について、より一層ご理解を深めていただき、広く道民の皆様へ情報発信していただくため、4月22日、6月22日に「地デジに関する記者説明会」を開催しました。

説明会では、道内における地デジの進捗状況、アナログ完全停波(2011年7月24日)に向けての課題などについて、最新のデータに基づき説明を行いました。

当局からは、デジタル中継局の整備について、特に、「新たな難視」*の対策が喫緊の課題であることを説明し、デジサポからは共聴施設のデジタル化改修における問題点等が説明されました。

※ 「新たな難視」… 地上アナログ放送は受信可能であるが、山間地など地形の影響により地デジが良好に受信できないこと。

当日の配布資料は当局HPにてご覧いただけます。



「道内における『地デジ』のすべて」 (平成22年4月22日 PDF)

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokkaido/2010/img/0422a.pdf>

「北海道における地デジ整備状況(要旨)」 (平成22年4月22日 PDF)

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokkaido/2010/img/0422b.pdf>

「道内における『地デジ』の現状」 (平成22年6月22日 PDF)

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokkaido/2010/img/0622a.pdf>

「北海道における地デジ整備状況(要旨)」 (平成22年6月22日 PDF)


<http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokkaido/2010/img/0622b.pdf>

担当：デジタル放送受信者支援室 (内線4667)



地デジ完全移行に向けた強力な取組

地デジの推進支援策に関する最新情報

- ・ 総務省HPにおける地デジ関連ページをリニューアルしました。
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/dtv/index.html
(総務省ホームページ「地上デジタルテレビ放送のご案内」 )
- ・ 総務省テレビ受信者支援センター（デジサポ）では地域ごとに受信相談受付のための電話番号を設置しました。
<http://www.digisuppo.jp/index.html> （デジサポトップページ）
- ・ デジサポでは地デジ専用アンテナキットの無料貸し出しを受付中です。
<http://www.digisuppo.jp/index.php/branch/doo/1/antenna/>
(URLはデジサポ道央。デジサポ道北・道南・道東のHPにおいても同様の情報を掲載。)
- ・ デジサポでは高齢者等の方々のための「戸別訪問」を受付中です。
地域で開催される地デジの相談会にお越しになれない高齢者等の方々のために「戸別訪問」を実施しています。
<http://www.digisuppo.jp/index.php/branch/doo/1/consulting/home/contract/>
(URLはデジサポ道央。デジサポ道北・道南・道東のHPにおいても同様の情報を掲載。)
- ・ デジサポでは地デジ化推進の各種助成金制度について平成22年度分を受付中です。
<http://www.digisuppo.jp/index.php/branch/doo/1/infocenter/donations/>
(URLはデジサポ道央。デジサポ道北・道南・道東のHPにおいても同様の情報を掲載。)
- ・ デジサポでは法律専門家が出向く「法律家出張相談」を受付中です。
受信障害対策共聴施設の改修にあたり、受信者、施設管理者、受信障害の原因と考えられる高層建築物等の所有者等との間に発生する民事的な紛争について、マンションの理事会等の会合へ法律専門家が出向いて相談に応じる「法律家出張相談」を受付中です。
<http://www.digisuppo.jp/index.php/branch/doo/1/news/detail/332/>
(URLはデジサポ道央。デジサポ道北・道南・道東のHPにおいても同様の情報を掲載。)

担当：デジタル放送受信者支援室（内線4667）

